



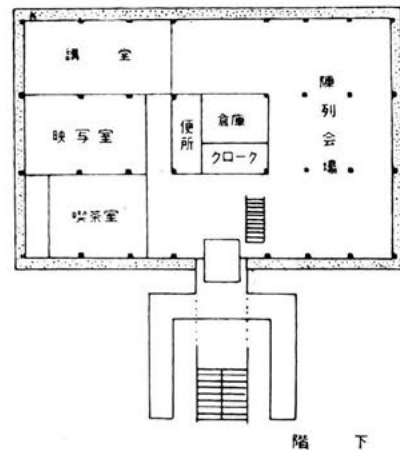
1960

# 石橋美術館 館報

No. 4

## 目 次

1. 設 立 趣 旨	1
2. 位 置・設 備	1
3. 機 構・運 営	1
4. 開館時と入館料	2
5. 1959年度入場者一覧	2
6. 1959年度開催展覧会一覧	3
7. 1959年度平常陳列一覧	3
8. 1959年度平常陳列目録	3
9. ギリシアの壺	7
10. ビュッフェ展	8
11. インド・中国古代彫刻展	10
12. 南 蛮 美 術 展	11
13. 選抜秀作美術展	13
14. 第3回西日本洋画新人秀作展	14
15. 特別展観 青木繁	15
16. 1959年度各種活動について	15
17. 講 座・講 演 会	15
18. 上映映画並スライド	16
19. 階下ギャラリー展覧会	16
20. レコード・コンサート	16



## 設 立 趣 旨

石橋美術館は、石橋正二郎氏が、昭和31年4月26日、ブリヂストンタイヤ株式会社創立25周年を記念して、社会公共と文化向上のために、郷土である久留米市に寄贈した石橋文化センターの中心施設として開設されたものである。

## 位 置・設 備

- 名 称——本美術館は「石橋美術館」と称し、英文では「ISHIBASHI ART GALLERY」と記す。これは、設立者石橋正二郎氏を記念したものである。
- 位 置——福岡県久留米市野中町石橋文化センター内。
- 面 積——1587平方米。鉄筋コンクリート二階建。
- 部 屋 割——階上 第一陳列室 第二陳列室 第三陳列室 中央ホール 事務室 主事室 倉庫 洗面室  
階下 オープンギャラリー 講堂 映写室 喫茶室 荷物預所 便所 倉庫
- 照 明——蛍光灯 白熱灯 併用
- 換 気——送風機による強制換気及び除湿機を併用して湿度調整

## 機 構・運 営

本美術館は、久留米文化振興会がこれを経営し、その運営は運営委員会に委ねられている。機構は次表の通り。

### 久留米文化振興会

会 長	杉 本 勝 次					
副 会 長	石 橋 幸 八	本 村 恒 次 郎	龍 頭 文 吉 郎			
常 務 理 事	青 木 重 憲					
理 事	板 垣 政 参	安 田 理 雄	牛 島 慶 二	倉 富 正 月	高 木 巖	
	岡 部 平 太	秋 山 国 之 助	井 上 義 一 郎	近 藤 徳 之 助		
監 事	浅 田 昇	齋 田 勇				

### 石 橋 美 術 館

顧 問	細 川 護 立	坂 本 繁 二 郎	杉 本 勝 次
参 与	豊 田 勝 秋	海 老 原 喜 之 助	

### 運 営 委 員 会

委 員 長	石 橋 幹 一 郎					
委 員	団 伊 能	富 永 惣 一	谷 信 一	今 泉 篤 男	嘉 門 安 雄	
	河 北 倫 明	谷 口 鉄 雄	伊 原 宇 三 郎	猪 熊 弦 一 郎	岩 佐 新	
	岸 田 勉					

主 事 補 (学芸員) 増 田 洋

## 開館時と入館料

開館時間 午前9時—午後5時30分 (4月1日—9月30日)

午前9時30分—午後5時 (10月1日—3月31日)

休 館 毎週月曜日

年末12月28日より 年始1月4日まで

別に陳列替のため臨時休館あり。

入 館 料 (石橋文化センター入園料とも)

### 個 人

### 団 体 (30名以上)

一 般 50円

一 般 40円

大学・高校生 40円

大学・高校生 30円

中学・小学生 30円

中学・小学生 20円

保護者同伴に限り未就学児無料。尚、特別展の時には料金の変更を行うことがある。

## 1959年度入場者一覧

月別	開館日数	個 人			団 体			フリー パス	計	一日平均
		一 般	大 学 高校生	中 学 小学生	一 般	大 学 高校生	中 学 小学生			
4	30	2,702	636	576	677	928	228	185	5,932	198
5	31	3,664	549	326	1,264	517	1,019	275	7,614	246
6	28	2,497	482	162	574	974	167	273	5,129	183
7	30	1,333	389	165	434	0	0	86	2,407	80
8	31	1,930	538	506	261	286	198	81	3,800	122
9	29	2,246	388	252	477	293	656	293	4,605	159
10	28	4,206	947	579	1,858	2,037	4,254	618	14,499	518
11	26	3,516	618	574	1,390	576	2,423	371	9,468	364
12	27	903	127	27	390	33	110	33	1,623	60
1	26	1,278	216	94	253	0	0	69	1,910	73
2	28	2,607	407	201	876	1,410	0	269	5,770	206
3	27	2,157	569	356	487	97	594	150	4,410	163
計	341	29,039	5,866	3,818	8,941	7,151	9,649	2,703	67,167	197

## 1959年度開催展覧会一覧

展 覧 会 名 称	期 間	日 数	入 場 者 数								計	一日平均
			個 人			団 体			フリース パス			
			一般	大 学 高校生	中 学 小学生	一般	大 学 高校生	中 学 小学生				
春の特別展 ギリシアの壺	4月18日— 5月31日	44	5,204	927	732	1,523	1,445	1,137	412	11,380	259	
ビュッフェ展	6月13日— 6月30日	18	1,818	388	109	187	804	113	230	3,649	203	
インド・中国 古代彫刻展	9月10日— 9月30日	21	1,879	332	233	467	293	656	270	4,130	196	
南 蛮 美 術 展	10月4日— 11月3日	31	5,379	1,356	923	2,449	2,515	4,481	879	17,982	581	
選 抜 秀 作 美 術 展	1月28日— 2月25日	29	2,659	449	203	763	1,410	0	282	5,766	199	
第 3 回 西日本洋画新人秀作展	2月27日— 3月20日	21	1,570	361	155	526	0	547	136	3,295	157	

## 1959年度平常陳列一覧

期 間	日 数	入 場 者 数								
		個 人			団 体			フリース パス	計	一日平均
		一 般	大 学 高校生	中 学 小学生	一 般	大 学 高校生	中 学 小学生			
3月30日—4月17日	19	1,301	302	206	428	0	110	48	2,395	126
6月2日—6月11日	10	679	94	53	387	170	54	43	1,480	148
7月2日—9月8日	69	3,630	953	690	735	286	198	190	6,682	97
11月8日—1月26日	72	4,185	477	332	1,440	131	2,306	163	9,034	125
計	170	9,795	1,826	1,281	2,990	587	2,668	444	19,591	115

## 1959年度 平 常 陳 列 目 録

### (日 本 作 品)

1	中 丸 精 十 郎	滝	(107.5×70.5cm)	1890年作
2	百 武 兼 行	臥 裸 婦	(97×187)	1881年作
3	浅 井 忠 輝	縫 物	(61×46)	1902年作
4	黒 田 清 輝	針 仕 事	(80×65)	1890年作
5	"	鉄 砲 百 合	(61.5×81)	1909年作
6	藤 島 武 二	天 平 の 面 影	(198.5×94)	1902年作
7	"	ヴェルサイユ風景	(73×91)	1906—7年作
8	"	唐 様 三 部 作	(79×138.5)	1912年頃
9	"	東 海 旭 光	(65×91)	1932年作
10	"	五 剣 山 の 日 の 出	(53×73.5)	"

11	岡	田	三郎助	臥	裸	婦	( 45 × 91.5 )	1900年作
12		"		ば	ら	の	(119 × 79 )	1901年作
13		"		髪	梳	く	( 60 × 46 )	1915年作
14	満	谷	国四郎	坐			( 65 × 54 )	1913年作
15		"		ブルターニュ	風	景	( 46 × 55.5 )	"
16		"		裸		婦	( 53 × 45.5 )	1925年作
17		"		裸		婦	( 72 × 60 )	"
18		"		脱		衣	( 64 × 31 )	1926年作
19	中	沢	弘光	「思	い	出」下	( 69 × 35 )	1909年作
20		"		ビ		サ	( 24 × 31 )	1921年作
21		"		ベ	ル	ギ	( 24 × 31 )	"
22		"		ナ	ポ	リ	( 25 × 34 )	"
23		"		コ	ロ	ン	( 25 × 34 )	"
24		"		ヴ	エ	ニ	( 37 × 28 )	1922年作
25		"			"		( 24 × 19 )	1921年作
26		"		ロ	一	マ	( 24 × 19 )	"
27		"		ミ	ラ	ノ	( 24 × 19 )	"
28	和	田	英作	読		書	( 73 × 53.5 )	1902年作
29		"		チ	ユ	ー	( 80 × 65 )	1927年作
30		"		早	春	(富士)	( 53 × 65 )	1939年作
31	石	川	寅治博	農	事	多	( 91 × 117 )	1947年作
32	吉	田		ウ	ダイ	プールの	( 33 × 45 )	1931年作
33		"		奔		流	( 97 × 130 )	1936年作
34		"		風		景	( 33 × 45 )	
35	小	杉	放庵	山	幸	彦	(192 × 291 )	1917年作
36	山	下	新太郎	バ		ラ	( 46 × 38 )	
37		"		供		物	( 55 × 45.7 )	1915年作
38	青	木	繁	秋	の	夜	( 14.5 × 16 )	1902年作
39		"		閣	威	弥	( 15 × 10.2 )	1903年作
40		"		輪		転	( 27.3 × 37.6 )	"
41		"			海		( 10.3 × 15.0 )	1904年作
42		"		丘	に	立つ	( 16 × 14 )	"
43		"		農		三	( 31 × 29 )	"
44		"		木		立	( 33 × 24 )	"
45		"			春		( 16.3 × 32.3 )	"
46		"		海		景	( 35 × 71 )	1904—5年作
47		"		水		浴	( 14 × 25 )	"
48		"		風		景	( 扇 面 )	1904年作
49		"		女	の	顔	( 羽 子 板 )	"
50		"		光	明	皇	( 38 × 72.5 )	1905年作
51		"		雪		后	( 32.5 × 23 )	1906年作
52		"		わ	だ	つ	(181.5 × 70 )	1907年作
53		"		月	下	滞	( 41.5 × 57 )	1908年作
54		"			春		( 44.5 円 型 )	"
55		"			秋		( " )	"
56	坂	本	繁二郎	荒		海	( 24 × 33 )	1915年作
57		"		自	画	像	( 45.5 × 37.5 )	1929年作
58		"		放	牧	三	( 79.5 × 99 )	1932年作
59		"		親	子	馬	( 15 × 21 )	
60		"		三	勇	士	( 52 × 81 )	
61	石	井	柏亭三	傘	松	(ナポリ)	( 50 × 60 )	1923年作
62	金	山	平	石	母	田	( 40 × 53 )	
63		"		田	沢	の	( 45 × 45 )	
64		"			菊		( 55 × 72 )	
65	和	田	三造		海		(106 × 197 )	
66		"		教会	の	見える風景	( 31 × 41 )	

67	辻		永	春	( 53 × 72.5 )	
68		"		フロントネ・オ・ローズの春	( 27 × 36.5 )	1921年作
69	斎藤	藤田	与里	秋景	( 20.5 × 26.5 )	
70	藤	田	嗣治	イソキ壺の静物	( 22 × 27 )	1926年作
71		"		裸婦	( 34.5 × 46.5 )	1949年作
72		"		女と猫	( 43 × 50 )	
73	青小	山出	熊治	男の像	( 91 × 61.5 )	
74	小	出	檜重	裸婦	( 70 × 46.5 )	1925年作
75		"		裸婦素描	( 50 × 35 )	1926年作
76	安	井	曾太郎	水浴裸婦	( 128 × 193 )	1914年作
77		"		北京風景	( 27 × 19 )	
78		"		りんご	( 31 × 51.5 )	
79		"		画面	( 40 × 28 )	
80		"		和装婦人	( 40 × 28 )	
81		"		洋装婦人	( 40 × 28 )	
82		"		静物	( 28 × 40 )	
83		"		蓄音器	( 40 × 28 )	
84		"		外房風景	( 28 × 40 )	
85		"		秋景	( 28 × 40 )	
86		"		奈良にて	( 28 × 40 )	
87		"		ばら	( 28 × 40 )	
88		"		魚貝静物	( 28 × 40 )	
89	梅	原山	龍三郎	ナポリよりソレントを望む	( 45.5 × 61 )	1921年作
90	遠	山	五郎	婦人読書図	( 80 × 65 )	1922年作
91	片	多	徳郎	芙蓉	( 45.5 × 37.5 )	1924年作
92	坂	田	一男	エスキース	( 33 × 23 )	
93	長谷	川	利行	動物園風景	( 45 × 53 )	
94	岸	田	劉生	麗子坐像	( 34 × 47 )	1920年作
95	児	島	善三郎	トレッド風景	( 50 × 100 )	
96	青	山	義雄	南仏アルプス遠望	( 52 × 45.5 )	
97	林		倭衛	フランス風景	( 52 × 45 )	
98		"		サントヴィクトワール山	( 32 × 41 )	
99	古	賀	春江	誕生	( 91 × 116.8 )	
100		"		海水浴の女達	( 91 × 116.8 )	1923年作
101		"		海女	( 116.8 × 91 )	"
102		"		鳥籠	( 111 × 145.5 )	1929年作
103		"		素朴な月夜	( 116.8 × 91 )	"
104		"		單純な哀話	( 116.8 × 91 )	1930年作
105		"		感傷の静脈	( 116.8 × 91 )	1931年作
106		"		少女	( 116.8 × 91 )	
107		"		厳しき伝統	( 111 × 145.5 )	1931年作
108	佐	伯祐	三	靴屋の店	( 72 × 60 )	1925年作
109		"		広告とテラス	( 54 × 66 )	1927年作
110		"		ガラージュ	( 60 × 73.5 )	"
111		"		広告貼り	( 74 × 61 )	"
112	荻	須高	徳	角の酒場	( 60 × 72.5 )	
113	猪	熊一	郎	山と水	( 66 × 81.5 )	
114		"		犬	( 46 × 63 )	
115	荒	井龍	男子	庭園	( 39 × 49 )	
116	三	岸節	子	カーニュシュールメール	( 55 × 46 )	
117	甲	斐仁	代	座間田園	( 34 × 46 )	

〔彫 刻 作 品〕

1	戸 張 孤 雁	裸	婦	ブ	ロ	ン	ズ	24cm
2	藤 川 勇 造	臥	婦	ブ	ロ	ン	ズ	19cm
3	山 本 豊 市	若	女	乾			漆	165cm

〔模 写 作 品〕

1	ボ ン ベ イ 壁 画			藤 島 武 二 模 写
2	"			"
3	キリストの洗礼壁画部分	フ ラ ン チ ェ ス カ	和 田 英 作	"
4	聖 家 族	テ イ ツ ィ ア ノ	島 村 三 七 雄	"
5	カスラル・ガンドルフォの思い出	コ ロ	和 島 村 英 三 七 雄	"
6	ムーラン・ド・ラ・ギャレット	ル ノ ア ー ル	勝 間 田 武 男	"
7	水 浴 後 の 休 息	"		"

〔外 国 作 品〕

1	ギ ー ス	酒	場	水 彩
2	ミ レ	農	夫	描
3	セ ザ ン ヌ	男	の	"
4	ス ミ ス	婦	人	
5	ル ド ソ ン	裸	婦	素 描
6	シ ニ ヤ ッ ク	ラ・ロ ッ シ ェ ル	水 彩	
7	マ テ イ ス	リ ュ リ ュ と	ペ ン 素 描	1931年作
8	モ ー リ ス・ド ニ	バ ッ カ ナ ー		1920年作
9	ヴ ラ マ ン ク	風	景	水 彩
10	ロ ー ラ ン サ ン	手 鏡 を 持 つ	女	
11	アーノルド・フィドラー	静	物	1950年作
12	アンリ・ロジュラン	風	景	1951年作
13	アレシンスキー	田 園 の 一	隅	1951年作
14	"	木 の	根	1954年作
15	トーマス・ジョージ	夜 の 映	像	1957年作
16	ヴァン・ド・レーヌ	化 粧 す る	女	

1959年度は、平常陳列に併行して、西洋創作版画を陳列した。

8月1日—9月9日

1	ド ー ビ ニ ー	牧 羊 場・朝	(エ ッ チ ン グ)
2	シ ャ ヴ ァ ン ヌ	ノ ル マ ン デ ィ	(リ ト グ ラ フ)
3	ピ サ ロ	水 浴 の 女	( " )
4	ファンタン・ラツール	牧 歌	( " )
5	ル ド ソ ン	耳	( " )
6	"	仏 陀	( " )
7	ロ ダ ン	アンリー・ベック像	(ド ラ イ・ポ イ ン ト)
8	カ リ エ ー ル	ネリー・カリエール	(リ ト グ ラ フ)
9	シ ニ ヤ ッ ク	風 景	(色 刷 リ ト グ ラ フ)
10	ロ ー ト レ ッ ク	「苦しい時代」のヤースとアントワース	(リ ト グ ラ フ)
11	"	ムーラン・ルージュにて	(色 刷 リ ト グ ラ フ)
12	ヴ ィ ヤ ー ル	昼 寝	( " )
13	アンドレ・マッソン	木の葉の上の男女	( " )
14	グ レ コ	踊 る 女	(リ ト グ ラ フ)
15	"	女 の 顔	( " )

11月7日—12月6日 ピカソのリトグラフ14点を陳列

12月6日—12月28日 マチスの " 20点を陳列

12月28日—1月27日 ブラックの複製画 11点を陳列



# 春の特別展 ギリシアの壺

(4月18日—5月31日)

当館主催。 会場 第1、2、3陳列室。

1959年度の春の特別展として、岡崎林平氏の御協力に依り開催したものである。九州地方ではこの種の展観は初めてであるため、会期中1万人を超える入場者があった。本館にとっても工芸の展観は初めてのことであった。

ク	レ	タ	式																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
---	---	---	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

# ビ ュ ッ フ エ 展

(6月13日—6月30日)

当館主催。朝日新聞社後援。会場第1、2陳列室

デ ッ サ ン (1958) P.=ペン C.=鉛筆

1	石油ランプのある静物	P.	50×65cm
2	コーヒー沸しのある静物	P.	50×65
3	ピストルのある静物	P.	50×65
4	梨のある静物	P.	50×65
5	将棋盤のある静物	P.	50×65
6	アルコール・ランプのある静物	P.	50×65
7	チーズのある静物	P.	50×65
8	蟹と針の形をした魚(だつ)	P.	50×65
9	かけた壺のある静物	P.	50×65
10	針の形をした魚	P.	50×65
11	ア イ ロ ン	P.	50×65
12	されこうべのある静物	P.	65×50
13	魚のある静物	C.	50×65
14	皮を剥がれた兎	C.	50×65
15	魚	C.	50×65
16	亀	P.	50×65
17	昆 虫	C.	50×65
18	部 屋	C.	65×50
19	浜 辺	C.	50×65
20	テ ン ト	C.	50×65
21	木	C.	65×50
22	クラウンの顔(1)	C.	65×50
23	クラウンの顔(2)	C.	65×50
24	ブルターニュ女の顔	C.	65×50
25	女 の 顔(1)	C.	65×50
26	女 の 顔(2)	C.	65×50
27	女 の 顔(3)	C.	65×50
28	牡 羊 の 頭	C.	65×50
29	ふ く ろ う(1)	C.	65×50
30	ふ く ろ う(2)	C.	50×65
31	鳥(1)	C.	50×65
32	鳥(2)	C.	50×65
33	花(1)	P.	65×50
34	花(2)	C.	65×50
35	花(3)	C.	65×50
36	花(4)	C.	65×50
37	花(5)	C.	65×50

版 画 (1952~1958) L.=リトグラフ P.S.=銅版

1	花 (あざみ)	(1952)	L.	50 × 32.5
2	風 車	(1953)	L. 色	32 × 50.5
3	聖 な る 顔	(1953)	P.S.	50 × 64
4	学 校	(1953)	P.S.	50 × 64
5	花	(1954)	L. 色	51 × 34
6	テ ン ト	(1954)	L. 色	43 × 59
7	教 会	(1954)	L. 色	49 × 64
8	ラ・ロシュルの港	(1954)	P.S.	45.5×65.5
9	ブルターニュの港	(1954)	P.S.	45.5×65
10	ひまわりとメロン	(1955)	L. 色	46 × 62
11	目 玉 焼 の 卵	(1955)	L. 色	62.5×45

春の特別展  
ギリシアの壺



4月18日—5月31日

会場風景

上 アラバストロン  
下 アリュバロス

上 オイノコエ  
下 皿

アンフォラ



# ビュッフェ展

6月13日—30日

当館主催・朝日新聞社後援で  
開催18日間の会期中に3,700人  
の入場者があった。とくに女性  
鑑賞者が多かったことが目立ち  
ベルナール・ビュッフェの人気  
を示した展覧会であった。

また会期中に美術館講堂では  
芸術学講座（第1期工芸）のう  
ち現代の民芸、工業デザイン、  
伝統工芸の三講座が開催された。

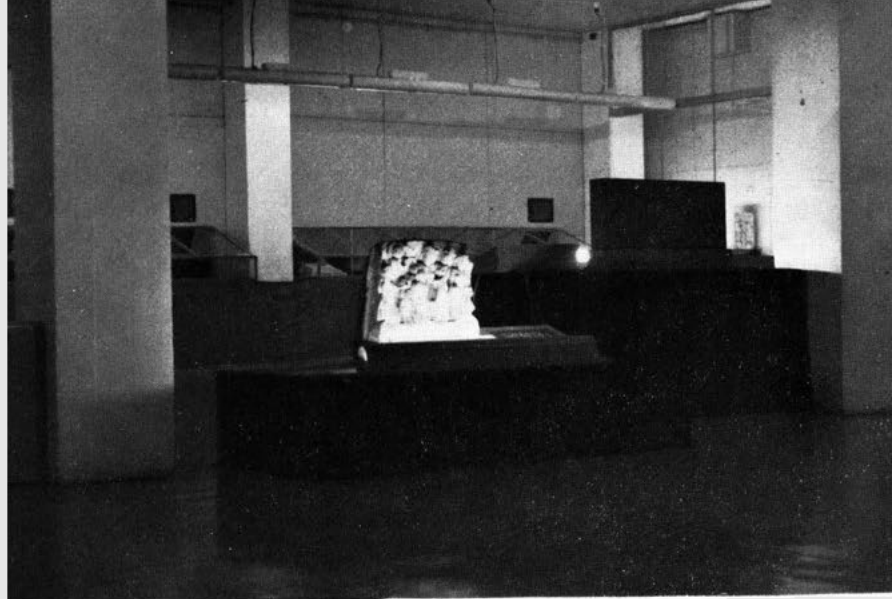


会 場 風 景

女 の 顔

顔

大木（アダム楽園）



上 インドの部会場  
左 仏立像（ガンダーラ）

## インド・中国 古代彫刻展

9月10日—30日

左 鞏県脇侍菩薩像  
下 中国の部会場  
右 仏坐像（ガンダーラ）



# 南 蛮 美術展

10月4日—11月3日

石橋美術館にとっては久々の東洋古美術展として開催されたもので、九州には関係の深い日本近世初頭の西洋風美術品は多く人々の興味を呼び会期中1万8,000人の人々が来場した。

陳列内容もこの種の美術展では最高級のものでザビエル像（写真上）泰西王侯騎馬図（写真中）レバント合戦図（写真下）などはその代表例である。

上 ザビエル像を鑑賞する石橋正二郎氏（正面後向き）、隣は谷信一氏（右側眼鏡の人）。

中 泰西王侯騎馬図。本展覧会には1双が揃って出品され偉観を放った。

下 レバント合戦図を鑑賞する石橋正二郎夫妻と谷信一氏。



世界地図屏風を初め各種の古地図は学生、生徒の関心をひき、その前には常に生徒たちが集まっていた。

写真は世界地図屏風と学生たち。



天草に近く初期キリスト教とは関係の深い土地なので、初期キリスト教関係の作品は入場者の興味をよんだ。

写真は新出の西洋人物図屏風など。



紅毛美術の部会場風景。



# 選拔秀作美術展

新郷 木く 哭  
達義 原柳 る 座

徳知 福豊 2. 流漂  
実島 古 女と 男

一月二八日—二月二五日



左 審査風景。左より嘉門安雄氏、  
谷口鉄雄氏、岸田勉氏。

右 出品者と審査員との座談会。  
これは授賞式の後で開催され  
た。

下 谷口委員から表彰状を贈られ  
る 田部光子氏（金賞）

金賞  
魚族の怒り

田  
部  
光  
子

## 第3回西日本洋画新人秀作展

2月27日 — 3月20日

銀賞 でんえん 板井 栄 雄

# 特別展観 青木 繁

青木繁の命日を記念して開催。  
久留米市で行われた記念祭の当  
日、展覧会場に故人の縁りの野  
尻たね子氏、福田蘭童氏夫妻、  
坂本繁二郎氏が一緒に来場、豊  
田勝秋氏（当館参与）の案内で  
故画伯の遺作と対面した。

福田蘭童氏 坂本繁二郎氏 野尻たね子氏 福田夫人 豊田勝秋氏

嘉門安雄氏（列品解説）

谷 信一氏（美術を通して見た中国の社会主義）

針生一郎氏（今日の美術とは）



## 講師の表情

講演会などから

右 ミュージック・マイナス・ワン  
に出演の 松浦一郎氏

左 菅 瀬 正 氏  
（南蛮美術に就いて）



12	兎	(1955)	P. S.	49.5×64
13	運 河	(1955)	P. S.	50 ×64
14	街	(1955)	P. S.	49 ×63
15	ア イ ロ ン	(1955)	L. 色	48 ×69
16	黄 色 のコーヒー沸し	(1955)	L. 色	68 ×48.5
17	サ ク レ・ク ール	(1956)	P. S.	39 ×44
18	ひ き が え る	(1957)	P. S.	49.5×64
19	浜 辺	(1957)	P. S.	41 ×46.5
20	顔	(1958)	L. 色	44 ×43
21	パ リ ジ エ ン ヌ	(1958)	L. 色	54.5×50
22	お ん ど り	(1958)	P. S.	55.5×45
23	風 景	(1958)	P. S.	42.5×59
24	ホ テ ル	(1958)	P. S.	43 ×58
25	灯 台	(1958)	P. S.	35.5×41

# さ し え 本 (ドライ・ポイント)

## キリストの受難 (1954)

1	とらわれ (ゲッセマニの園)	28.5×34.5
2	ペ ト ロ の 否 み	31 ×43.5
3	尋 問 (ピラトの前で)	33.5×20
4	ユダの失望と死	40 ×14
5	ピラト手を洗う	21 ×28.5
6~7	鞭 打 ち (宣告)	36 ×21 / 35 × 9.5
8	茨 の 冠 (嘲弄)	14 ×24.5
9	ECCE HOMO (宣告)	40 ×18
10	刑 場 へ	31 ×47.5
11~12	イエズスのためになげき悲しむ婦人達	37.5× 9 / 37.5× 9
13	刑 場 に て (いけにえ)	26 ×47
14	聖なる顔 (父のみわざ)	27 ×29.5
15~16	衣服の分配 (聖書の実現)	9 ×23 / 39 ×17
17	はりつけ (聖書の実現)	40 ×39.5
18	第七の言葉 (「父よ、私の霊を、御手に…」)	24 ×47
19	葬 り	13 ×49.5
20	死者のよみがえり (復活)	39.5×45
21	こ ひ つ じ	10 ×21

## シラノ・ド・ベルジュラックの空想旅行 (1958)

1~2	月 世 界 旅 行 機	40.5×64.5
3	上昇露入りのガラスびんをつけたシラノ	39 ×30
4	大空を見上げるシラノ	39 ×30
5	到 着	39 ×30
6	大 木 (アダムの楽園)	39 ×30
7	知 恵 の 実	39 ×30
8	月 の 住 民	39 ×30
9	車とふいごつきの家	39 ×30
10	蓄 音 器	39 ×30
11	死 の 勝 利	39 ×30
12	日 時 計 の 顔	39 ×30
13~14	日 世 界 旅 行 機	40.5×64.5
15	太 陽	39 ×30
16	太 陽 民 族 (精霊人)	39 ×30
17	天体系を眺めるシラノ	39 ×30
18	出 発 準 備	39 ×30
19	お う む	39 ×30
20	ふ く ろ う	39 ×30

(9月10日—9月30日)

橋本節哉氏、守屋正氏、雑賀信也氏、岡崎林平氏その他の方々の御協力を得て開催したものである。

ガンダーラ

1	石	造	浮	彫
2			"	
3	石			造
4	石	造	浮	彫
5	石	造	浮	彫
6	石			造
7			"	
8			"	
9			"	
10			"	
11			"	
12			"	
13			"	
14			"	
15			"	
16			"	

図	母	帝	梨	生	誕	迦	釈
図	力	剛	金	城	踰	家	出
像	士	力	詞	梨	と	支	半
像	像	法	説	身	説	迦	積
像	像	薩	立	坐	座	半	仏
像	像	坐	菩	頭	菩	と	仏
像	像	頭	尊	頭	尊	薩	三
頭	部	頭	の	の	部	薩	菩
部	部	部			部	部	菩
手	手				像	像	天

ゲ プ タ  
17 石 造  
18 "

降	魔	积	迦	像
降	魔	积	迦	像

ハ ッ タ  
19 塑 像

仙頭

パ      ー      ラ  
20 石      造  
21      "

圖塔 護龕 守仏 王面 龍四

北 魏 (A. D. 386—534)

22	石	造
23		"
24		"
25		"
26		"
27		"
28		"
29		"
30		"
31		"
32		"

[illegible]

(A.D. 477)

東 魏 (A. D. 534—550)  
33 石 造

仙 像

北	齊	(A. D. 550—577)
34	白	玉
35		"

皇建菩薩立像  
河清三年半跏思惟像

(A. D. 560)

(A. D. 564)

北 周 (A.D. 537—580)  
36 黃 華 石

## 四 面 像

# 南 蛮 美 術 展

(10月4日—11月3日)

西日本新聞社、当館主催。福岡県教育委員会、久留米市教育委員会、久留米市連合文化会、九州朝日放送後援。会場第1、2、3陳列室及び中央ホール。市立神戸美術館、東京国立博物館、京都国立博物館、在東京、在阪神の各所蔵家の御協力を得て開催したものである。

## 〔1〕 第一期西洋画 (南蛮美術)

1. 聖 画									
悲 し み の 聖 母 像								一	面
聖フランシスコ・ザビエル像	重	美						一	面
教会 曆 (西洋製銅版画)								一	面
2. 西 洋 風 俗 画									
レ パ ン ト 合 戦 図					六	曲	屏	一	双
世界地図・四国都市図					八	曲	屏	一	双
泰西王侯騎馬図	重	文			四	曲	屏	一	双
泰西王侯騎馬図	重	文			四	曲	屏	一	双
西洋人物図					六	曲	屏	一	双
西洋人物図					二	曲	屏	一	双
西洋武人図					六	曲	屏	一	双
信方筆 西洋武人図					二	曲	屏	一	面
信方筆 師父二童子図								一	面
伝信方筆 達磨像								一	幅

## 〔2〕 日 本 画 (南蛮美術)

狩野元秀筆 扇面南蛮寺図								一	面
南 蛮 屏 風					四	曲	屏	一	面
南 蛮 屏 風					六	曲	屏	一	面
南 蛮 風 俗 図					二	曲	屏	一	面
南 蛮 人 行 列 図					六	曲	屏	一	面
鉄砲模様蒔絵鼓胴								一	点
錫十字入冠模様硯箱								一	点
ローマ字紋章入鞍								一	点
南 蛮 人 絵 鞍								一	点
南 蛮 人 図 木 製 煙 硝 入								一	点
南 蛮 人 図 木 彫								一	点
小林謙貞作図	世界万国地球図	宝永五年						一	幅
万国総図人物図		正保二年			二	曲	屏	一	幅
万国総図人物図					四	曲	屏	一	幅
万国総図世界人形図								一	幅
ブラウ著改訂版世界地図古写図								一	幅

## 〔3〕 第二期西洋画 (紅毛画)

1. 長 崎 派									
若 杉 五 十 八 筆 (1759—1805)				オランダ風景				一	面
同				蝶に花籠図				一	面
川 原 慶 賀 筆 (18世紀前期)				ドーフ像				一	面
石 崎 融 思 筆 (1768—1846)				ブロムホフ家族図				一	幅
				蘭 船 図				一	幅
紅 毛 人 図								一	幅
紅 毛 人 図								一	幅
紅 毛 人 図								一	幅
長 崎 出 島 図								一	卷

蘭世南伊	船界人	図人	版種	画図		—	幅
南	蛮	人	ロウソク	立		—	幅
伊	里	焼	南蛮人	騎象図	色絵壺	—	点
2.	京	阪	派	挙	筆 (1733—95)	京名所眼鏡絵	六
	町	山	応	筆	鏡 (操り式)		一
	木	村	孔	恭	筆 (兼葭堂、1736—1802)	紅毛人図	一
	狩		狐	図			一
	仁清作	うんすん	かるた	色絵香合			一
	うんすん	かるた					一
	京オランダ	焼	異国風景	染付大皿			一
	十	字	入	俵	型鉢		一
3.	江	戸	派	内	筆 (1726—79)	西洋婦人図	一
	平	賀	源	筆			一
	源内	焼	亞墨利加洲	地図大皿			一
	司	馬	江	漢	筆 (1738—1818)	異国風景人物図	双
			同		江馬春齡宛書翰	文化十年六月	一
			同		铸物工場図		一
			同			達磨像	一
			同			蜆子和尚図	一
			同		(銅版画)	三用図	一
			同		同	不忍池図	一
			同		同	七里浜図	一
			同		同	両国橋図	一
	江	漢	硯	鏡			一
	亜	欧	堂	田	筆 (1748—1822)	蘭画写生図	一
			同			今戸瓦焼図	一
			同		(銅版画)	両国夕涼図	一
			同		同	大日本金竜山之図	一
			同		同	ゼルマニヤ廊中之図	一
	奥	村	政	信	筆	紅毛人図版画	二
	谷	文	晁	筆	(1763—1840)	ファン・ロイエン画花鳥図模写	一
	石	川	大	浪	筆	ヒボクラテス像	一
	沼	波	弄	山	作 (1718—77)	獅子図オランダ文字染付水指	一
4.	秋	田	派				
	佐	竹	曙	山	筆 (1748—85)	かきつばた図	一
	佐	竹	義	躬	筆 (1748—1800)	桜図	一

#### (4) 禁教時代

江切踏聖聖聖マ	月支	宗丹	玩制	書制	状 (小堀遠州宛キリシタン処刑の記事あり)	—	幅
					札 (天和二年)	一	点
					絵	六	点
		母	子		像 (孔子像)	一	点
		母	子		像 (阿弥陀像)	一	点
		母	子		像 (鬼子母神像)	一	点
					像 (恵比須像)	一	点
	マ	リ	ア	観音	像	二	点

#### 追加出品

十	字	水	指		—	点
十	字	香	爐		一	点
南	蛮	入	台		一	点
種	子	鳥	筒		一	丁
若	松	流	筒		一	丁
墨	縄	大	銃		一	丁
		の				

# 選拔秀作美術展

(1月28日—2月25日)

朝日新聞社、当館共催。 会場第1、2陳列室。

〔油 彩 画〕											
1	赤 穴	宏	因	嬰	F	100	新	制	作	展	
2	東 網	俊	風	人		100	モ	ン	・	ア	展
3	伊 谷	義	四	7	F	120	ダ	制	作	展	
4	猪 藤	隆	作	一	P	50	新	・	ア	展	
5	岩 熊	弦	抛	点			シ	エ	ル	展	
6	梅 崎	一	作	・		200	毎	日	作	展	
7	江 原	龍	作	X	E	15	国	画	賞	展	
8	大 見	三	ヴ	ニ	S		行	動	会	展	
9	荻 森	絹	み	も	F	120	行	作		展	
10	草 野	朔	陸			100	新	制	作	展	
11	小 絲	太	歴	文	4.2×4尺	F	新	風	作	展	
12	古 賀	源	碑	銀	F	40	光	立	会	展	
13	児 島	善	西	花	F	100	独	立		展	
14	小 林	三	玄			30	国	際	作	展	
15	斎 藤	和	秋	山	F	100	新	制	作	展	
16	斎 藤	正	緩	和		120	国	際		展	
17	志 賀	義	青	跡	F	200	新	作		展	
18	志 賀	健	反	A	F	20	説	完	ア	展	
19	鈴 須	信	静	物	F	60	個	画	会	展	
20	高 田	剋	否	無	F	150	国	際		展	
21	高 田	剋	海	風	F	30	独	立		展	
22	田 畠	達	道	海		50	行	動	作	展	
23	田 畠	三	黒	林		50	新	制	作	展	
24	津 高	安	自	精	F	150	国	際		展	
25	中 川	和	堆	空	F	25	春	陽	作	展	
26	行 林	一	長	夕	F	20	新	制	日	展	
27	福 沢	秀	横	風		60	毎	個		展	
28	福 島	長	作	人		100	個	個		展	
29	山 口		四	品	9×6尺	F	個	際		展	
30	山 本		神	角	F	100	新	制	作	展	
31	脇 田		飛	飛	F	50	画	協	会	展	
〔版 画〕											
1	一 加	有	K	・	Y	・	O	60×43	版	画	展
2	駒 納	光	・	と	花	と	物	42.4×47.4	個	協	展
3	長 谷	哲	鱗	と	果	落	葉	31.4×42.2	国	協	展
4	浜 川	陽	鳥	鳥	と	異	桃	35×25	版	日	展
5	浜 口	知	小	床			夢	20×20	毎	賞	展
6	深 田	幸	桜				縛	36×30.5	国	際	展
7	山 沢	幸	同				季	36×36	シ	ル	展
8	吉 田	穂	繁	芽			祖	2.5尺	エ	協	展
9	古 島		男	と			女	100×30	画	協	展
〔彫 刻〕											
1	古 藤	忠	男	と			女	200cm	院	制	展
2	佐 藤	栄	う	ラ			ね	首等寸	新	動	展
3	田 中	知	ア	ウ			2	人6尺	行	作	展
4	豊 福	義	漂	流			く	舟9.6尺	新	際	展
5	本 郷		哭						国		展
6	柳 原		座								

### 第3回 西日本洋画新人秀作展

(2月27日—3月20日)

当館主催。会場第1、2陳列室。

1959年度西日本地区(山口県、九州)で開催された各種公募展の上位入賞作より43点を選抜したもので、当館運営委員会で審査の結果、田部光子「魚族の怒り」に金賞、板井栄雄「でんえん」に銀賞、松藤真澄「さかな」岡田敬二「作品」に銅賞が贈られた。

#### 〔佐賀県美術展〕

1	壊れる街	文部大臣賞	60	柿橋真宮村	原口木原岡	聰子男文一
2	静悩	日新聞賞	50			久昭俊
3	品A	毎新議	50			
4	作品	県会教委	100			
5	ペーメント		50			

#### 〔西部女性美術展〕

6	作品	朝日新聞賞	100	江沢田阿山	上井部田	睦幸祥子
7	赤魚	日銀賞	60			睦光美代
8	魚族の怒	日銀賞	100			
9	彩どられた朝	日銀賞	100			
10		朝日新聞賞	200			

#### 〔長崎県美術展〕

11	作精霊の風	知事賞	50	岡小園山横	田林田口尾	敬典康隆安
12	島瀬町と	県会美術協	50			
13	魚と	市長賞	60			
14	室	協長賞	40			
15			20			

#### 〔福岡県美術展〕

16	柳川スケッチ	知事賞	60	相柿友中松	浦原添島藤	利祐聰典象澄
17	うるし	日新聞賞	50			
18	うるし	市市長賞	50			
19	廃さ	美術協	100			
20	か		50			

#### 〔南日本美術展〕

21	花の碑	知事賞	100	大清水	嵩野辺	礼造正海
22	貝	村長賞	50			
23	砂丘	鹿児島市長	100			

#### 〔宮崎県美術展〕

24	窓マインス六番	宮崎市長	50	加世田丸下田崎	正芳貴宏正	行一雄祐二
25	裁イナス	都市長	50			
26	裁イナス	市市長	30			
27	標本(草花と魚)	市市長	20			
28	花	市市長	100			

#### 〔山口県美術展〕

29	静風群	県知事賞	50	岸厚坂藤森	東倉川田	勤治典造哲
30	物A	知事賞	40			
31	群	文部大臣	50			
32	蛾船	県教委	30			
33		教委	30			

#### 〔大分県美術展〕

34	兆	県美術協	50	安熊白十永	藤井野時松	真子敏良年
35	機田住	トキ部大	100			
36	住	分同新	120			
37	住	分同新	100			
38	魚	分同新	60			

#### 〔熊日総合美術展〕

39	でんえん	熊日賞	3尺×6尺	板大小田春	井石山辺口	栄隆桂多光
40	悲	励賞	80			
41	死馬	市賞	120			
42	と	励賞	60			
43	風	励賞	80			



## 特別展観 青 木 繁

(3月21日—4月22日)

平常陳列と併行して第3陳列室に陳列。

明治洋画界の鬼才青木繁の命日3月25日には郷土久留米市で故人を偲ぶ記念祭が行われる。

この期間市民の要望に応じて当館所蔵の故人の全作品を展観したものである。

1	落葉徑	妙義スケッチ	1902年作	13	風		景	1904年作
2	秋	の	夜	14	女	の	顔	"
3	自	画	像	15	水		浴	1904—5年作
4	閣	威	弥	16	海		景	"
5	輪		転	17	光	明	皇	1905年作
6	か	る	た	18	雪		景	1906年作
7	絵	入	り	19	わだつみのいろこの宮			1907年作
8		海		20	月	下	滞	1908年作
9	丘	に	立	21		春		"
10	農		家	22		秋		"
11	木		立	23	ス	ケ	ッ	チ
12		春						"

## 1959年度各種活動について

毎週土、日曜日に定期的に作品解説を行っている。

美術講座、美術映画やスライドの会を開いて美術知識の普及をはかり、館外でも機会ある度に美術講演会を開催している。又、市内の各学校の要望に応じてスライドや、映画フィルム等の借出をする他、館員が出向して解説を行うなど努力している。

階下のオープンギャラリーは常に活用され、使用数は年々増加している。

## 講 座・講 演 会

5月5日	第21回美術講座	今日の美術とは	針生一郎氏
5月17日	芸術学講座(第1期工芸)	陶磁の鑑賞	永竹威氏
5月31日	"	陶磁の技法	滝一夫氏
6月14日	"	現代の民芸	野間吉夫氏
6月21日	"	工業デザイン	船倉鉦氏
6月28日	"	伝統工芸	豊田勝秋氏
10月3日	美術講演会	美術を通してみた中国の社会主義(スライド使用)	
			谷信一氏
10月4日	"	南蛮美術について	谷菅瀬信一氏
10月19日	美術講演と映画の会	フランス美術の流れ	富永惣一氏
		アメリカ美術の現状	河北倫明氏
		映画「梅原龍三郎」	「坂本繁二郎」

## 上映映画並スライド

10月18日	映画	「梅原龍三郎」「坂本繁二郎」「月ノ輪古墳」
10月19日	映画	「梅原龍三郎」「坂本繁二郎」
2月12日	スライド	「20世紀の絵画」
2月15日	スライド	「20世紀の絵画」
2月16日	スライド	「20世紀の絵画」
2月17日	スライド	「20世紀の絵画」「古代・中世・ルネッサンスの絵画」
2月18日	スライド	「20世紀の絵画」
2月19日	スライド	「20世紀の絵画」
2月20日	スライド	「20世紀の絵画」
2月23日	スライド	「20世紀の絵画」
2月25日	スライド	「20世紀の絵画」

## 階下ギャラリー展覧会

4月5日—4月12日	三人展	(油絵、版画、彫塑)	
4月26日—5月5日	第10回西部水彩展	(水彩画)	西部水彩連盟主催
5月9日—5月17日	けしけし祭児童画展	(児童画)	
5月23日—5月25日	久留米市制70周年記念 観光久留米日本画展	(日本画)	
6月6日—6月8日	水天宮児童文化会童画展	(児童画)	
6月10日—6月15日	第2回ユネスコ国際交流学校美術展	(絵画、他)	
6月26日—6月29日	市内小中学校合同美術展	(“ ”)	
8月2日—8月9日	第8回青稲会展	(油絵)	
8月17日—8月18日	久大附設高校創立10周年記念 絵画・写真真展	(絵画、写真)	
8月19日—8月23日	五人展	(油絵他)	
9月20日—9月30日	国際親善児童画展	(児童画)	
9月26日—9月30日	第9回筑後川公園学童スケッチ展	(“ ”)	
10月12日—10月18日	第3回筑後地区高校美術展	(絵画、彫塑、工芸、他)	
10月22日—10月25日	久留米青年華道展	(生花)	
11月22日—11月28日	二人展	(絵画)	
12月1日—12月3日	市内小学校粘土細工展	(粘土細工)	
12月6日—12月13日	第2回九州前衛展	(絵画)	
12月16日—12月21日	久留米市中学校総合美術展	(絵画、他)	
1月30日—2月5日	松方コレクション ロダン彫刻写真展 絵画複製	(写真、複製)	美術出版社提供
2月20日—2月22日	水天宮児童文化会揮毫作品展	(書)	
3月11日—3月16日	商業デザインコンクール	(包装紙他)	久留米市商工課主催

## レコード・コンサート

1.C.C.レコード・コンサートは毎月1回、第3土曜日に美術館中央ホールで開催している。解説は毎回、田中孝氏。1969年度は、5月に開園3周年を記念して特別コンサート「ミュージック・マイナス・ワン」を開催した。本年度のテーマは「ドイツ歌曲Ⅱ」「中期及び後期ロマン派の歌曲」「国々の音楽」であり、数回に分けて演奏した。開始以来の通算37回になる。その他に久留米青年会議所と共催でポピュラー・レコード・コンサートを5回開催した。



ISHIBASHI ART GALLERY

NONAKA-MACHI, KURUME, FUKUOKA, JAPAN



久留米市 野中町 石橋文化センター

石橋美術館